



# 2018年度決算説明資料

2019年5月9日

三菱重工業株式会社

# 目次

<b>I . 2018年度決算実績</b>		<b>II . 2018年度決算実績を踏まえた 当社財政状態・経営成績の分析</b>	
・決算実績ハイライト	3	・財政状態と経営成績の推移	13
・連結経営成績サマリー	4	・評価と課題	17
・定常収益	5	・財政状態	20
・セグメント別内訳	6	<b>III . 2019年度業績見通し</b>	
・連結財政状態	7	・連結業績見通しサマリー	22
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	8	・定常収益	23
セグメント情報		・セグメント別内訳	24
・受注高・受注残高	9	<b>IV . 補足資料</b>	25-31
・売上収益	10		
・事業利益	11		

当社グループは、2018年度より国際会計基準(IFRS)を適用しています。  
このため、2017年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しています。

# I . 2018年度決算実績

# 2018年度決算実績 ハイライト

- 受注高、売上収益は概ね前年度並み  
→P6(実績セグメント別内訳)、P9(セグメント別受注高・受注残高)、P10(セグメント別売上収益)
- 事業利益は全セグメントで増加  
(パワー:前年度比+452億円/インダストリー&社会基盤:同+291億円/航空・防衛・宇宙:同+261億円)  
→P6(実績セグメント別内訳)、P11(セグメント別事業利益)
- 財政状態は堅調  
フリーキャッシュフローは前年度を上回り、過去最高(2,430億円)  
有利子負債は過去最低水準(6,651億円)  
→P7(連結財政状態)、P8(主要財務指標/キャッシュ・フロー)
- 年間配当は前年度比10円増の130円  
→P22(業績見通し)



- 運転資金の削減(経営効率化)によりキャッシュフローは増大、利益も増加基調
- 「流動資産」の効率化は着実に進む、今後は「固定資産」の効率化(再活用・流動化)が課題
- 総資産の50%を占める「伸長・維持事業」はTOP(※)を達成、  
今後は「変革・縮小」「新規(MRJ)」の課題SBUの変革・改善に注力  
→P12~(2018年度決算実績を踏まえた当社財政状態・経営成績の分析)  
(※)TOP:Triple One Proportion(売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

# 2018年度決算実績 連結経営成績サマリー

(ご参考)  
日本会計基準

(単位:億円)

	2017年度 (利益率)		2017年度 (利益率)		2018年度 (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		38,757		38,687		38,534	△ 153	(△0.4%)
売上収益		41,108		40,856		40,783	△ 73	(△0.2%)
事業利益	(3.1%)	(営業利益) 1,265	(1.4%)	581	(4.6%)	1,867	+1,285	(+221.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.7%)	704	(△0.2%)	△73	(2.5%)	1,013	+1,086	-
ROE		3.9%		△0.5%		7.2%	+7.7pt	
EBITDA	(7.8%)	3,191	(5.7%)	2,317	(7.6%)	3,116	+798	(+34.5%)
フリーCF		2,079		1,675		2,430	+754	-

(単位:億円)

2018年度	定常収益 (利益率)	MRJ投資	合計 (利益率)
受注高	38,534	—	38,534
売上収益	40,783	—	40,783
事業利益	(6.7%) 2,719	△851	(4.6%) 1,867
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.5%) 1,848	△834	(2.5%) 1,013
EBITDA	(9.7%) 3,964	△848	(7.6%) 3,116
フリーCF	3,522	△1,092	2,430

# 2018年度決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳

(単位: 億円)

	受注高				売上収益				営業利益	事業利益		
	'17年度 (日本基準)	'17年度	'18年度	増減	'17年度 (日本基準)	'17年度	'18年度	増減	'17年度 (日本基準)	'17年度	'18年度	増減
パワー	14,375	14,375	14,265	△ 110	14,939	14,824	15,251	+426	1,089	876	1,328	+452
インダストリー & 社会基盤	17,113	17,113	18,520	+1,406	18,989	18,900	19,078	+177	408	410	701	+290
航空・防衛・宇宙	7,215	7,146	6,106	△ 1,039	7,229	7,183	6,775	△ 407	△ 151	△ 635	△ 374	+260
その他	1,135	1,135	733	△ 401	1,208	1,207	716	△ 490	50	44	359	+315
消去または共通	△ 1,083	△ 1,083	△ 1,091	△ 8	△ 1,259	△ 1,259	△ 1,038	+220	△ 132	△ 114	△ 148	△ 33
合計	38,757	38,687	38,534	△ 153	41,108	40,856	40,783	△ 73	1,265	581	1,867	+1,285

# 2018年度決算実績 連結財政状態

(単位: 億円)

	‘17年度末 (日本基準)	‘17年度末	‘18年度末	対前年度末 増減
売上債権(営業債権、契約資産)	12,327	15,046	13,431	△1,614
棚卸資産	12,128	7,485	7,392	△93
その他流動資産	※ 11,336	※ 9,877	※ 10,769	+891
固定資産	10,806	9,977	10,137	+159
投資等	8,277	10,100	9,696	△404
<b>資産合計</b>	<b>54,876</b>	<b>52,487</b>	<b>51,427</b>	<b>△1,060</b>
営業債務	8,782	8,011	8,621	+610
契約負債	8,996	9,146	8,752	△394
その他	7,320	10,258	9,913	△345
有利子負債	8,131	8,131	6,651	△1,480
資本	21,644	16,938	17,488	+549
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(18,247)	(13,955)	(14,308)	(+353)
<b>負債・資本合計</b>	<b>54,876</b>	<b>52,487</b>	<b>51,427</b>	<b>△1,060</b>

※ 南アフリカプロジェクトに係る資産を含む  
 ‘17年度末 : 4,459億円  
 ‘18年度末 : 5,460億円

借入金 △1,180  
社債 △300

配当 △419  
当期利益 +1,013  
その他の包括利益 △241 他  
(その他有価証券評価差額金等)



## 主要財務指標

	'17年度末	'18年度末	対前年度末 増減
自己資本比率	26.6%	27.8%	+1.2pt
有利子負債残高 (単位:億円)	8,131	6,651	△ 1,480
D/Eレシオ	0.48	0.38	△ 0.10

## キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'17年度	'18年度	対前年度 増減
営業CF	4,057	4,049	△ 8
投資CF	△ 2,381	△ 1,618	+763
フリーCF	1,675	2,430	+754

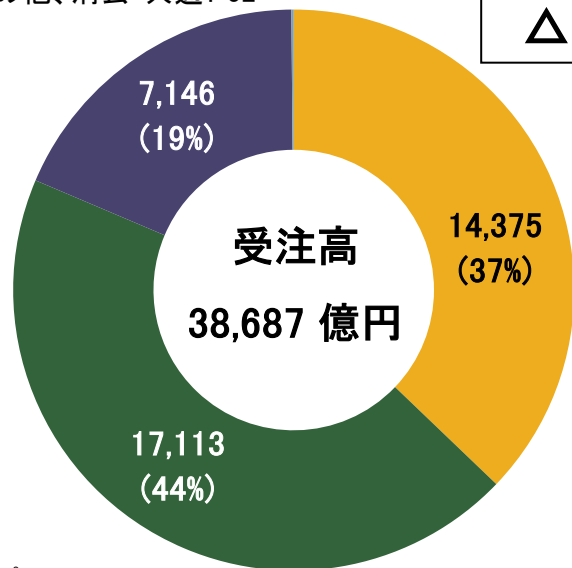
# 2018年度決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>

2017年度

その他、消去・共通: 52

受注高

△153億円



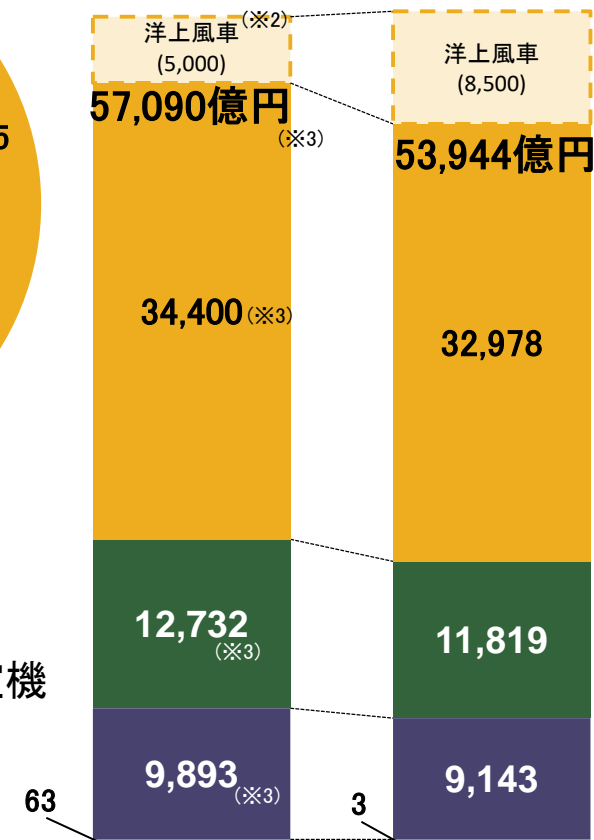
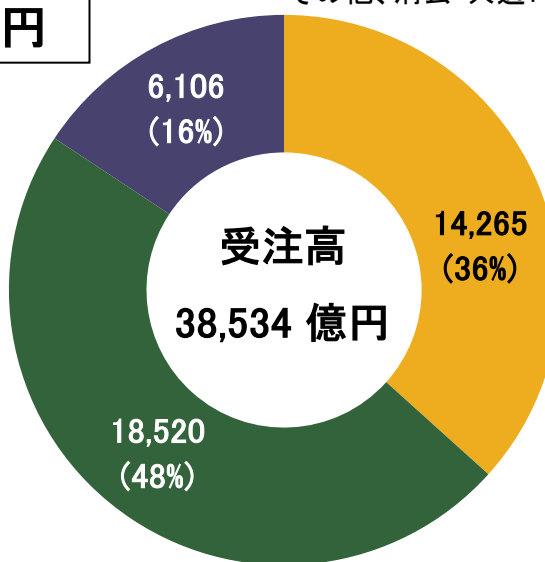
2018年度

その他、消去・共通: △358

受注高

受注残高

△3,146億円



'17年度末 '18年度末  
(ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない)

- パワー
- インダストリー&社会基盤
- 航空・防衛・宇宙
- その他、消去・共通

## ■ パワー

増加: GTCC<sup>(※1)</sup>、コンプレッサ  
減少: スチームパワー、原子力  
(コンベンショナル火力)

## ■ 航空・防衛・宇宙

減少: 宇宙機器、民間航空機

## ■ インダストリー&社会基盤

増加: 商船、化学プラント、物流機器

(※1) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

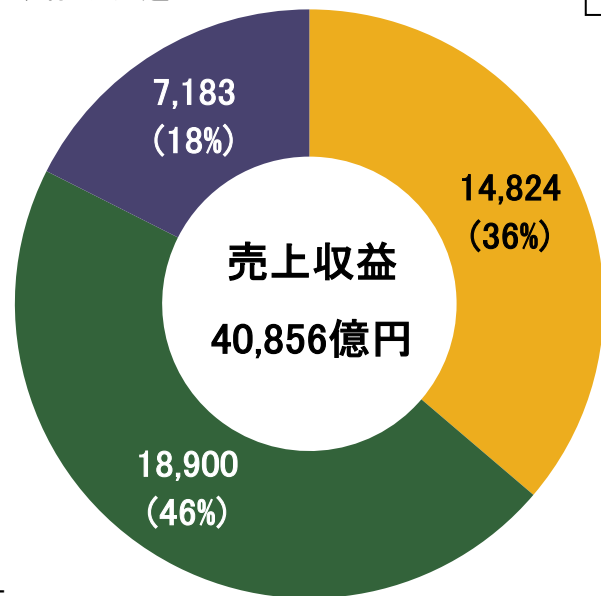
(※2) 持分法適用会社(MHI Vestas Offshore Wind A/S)による事業であるため、概数を受注残高合計の外数として表示

(※3)2017年度末時点の受注残高については、IFRS導入に伴う期首調整値ほかを見直したことにより995億円増加した。

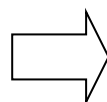
# 2018年度決算実績 セグメント別 <売上収益>

2017年度

その他、消去・共通:  $\Delta 52$

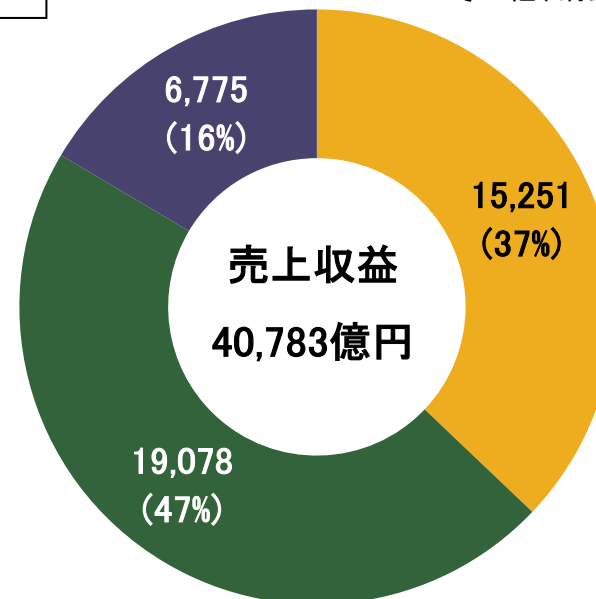


$\Delta 73$ 億円



2018年度

その他、消去・共通:  $\Delta 367$



- パワー
- インダストリー&社会基盤
- 航空・防衛・宇宙
- その他、消去・共通

■ **パワー**

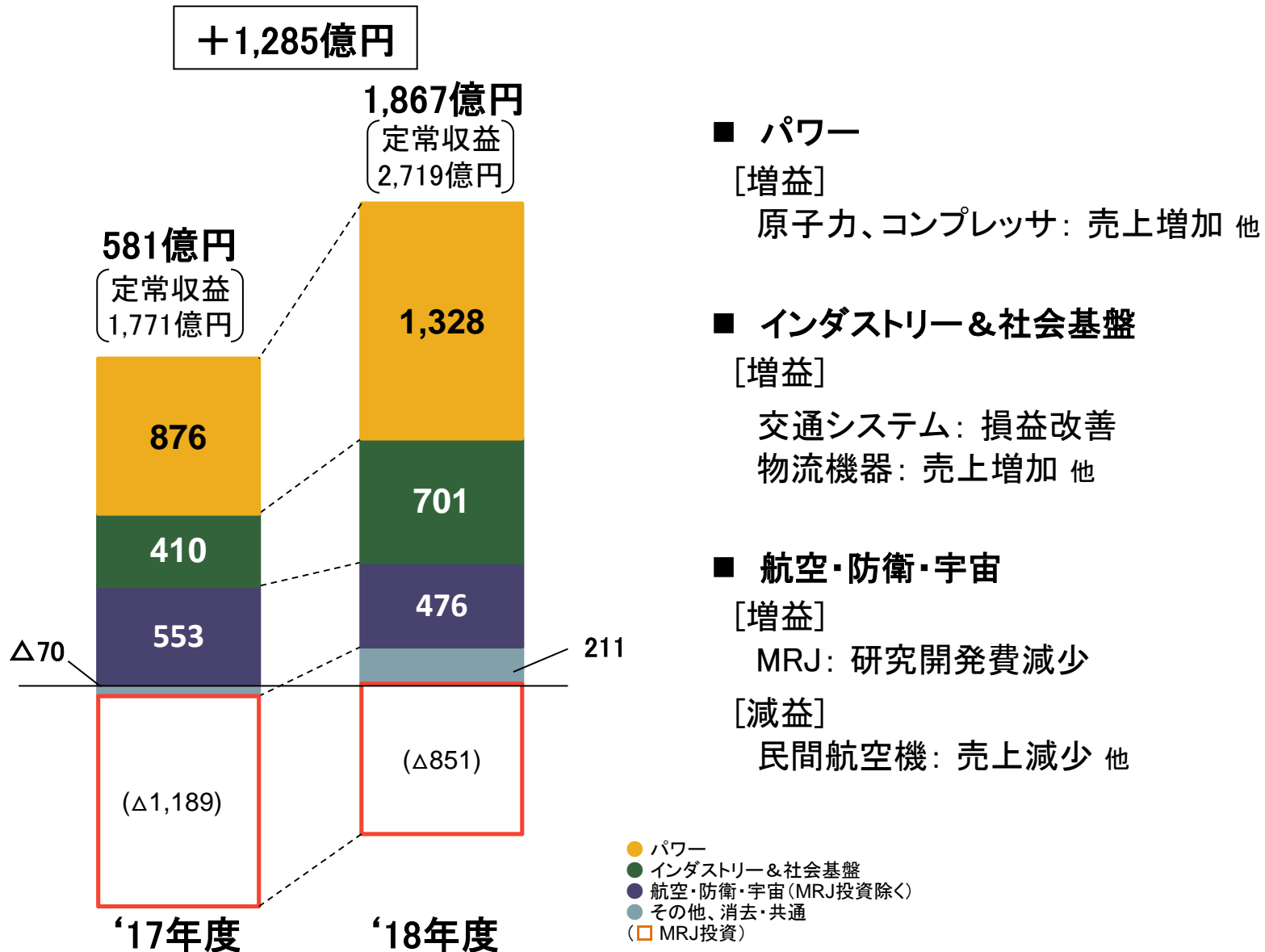
増加: 原子力、GTCC

■ **インダストリー&社会基盤**

増加: 製鉄機械、物流機器  
減少: 化学プラント、商船

■ **航空・防衛・宇宙**

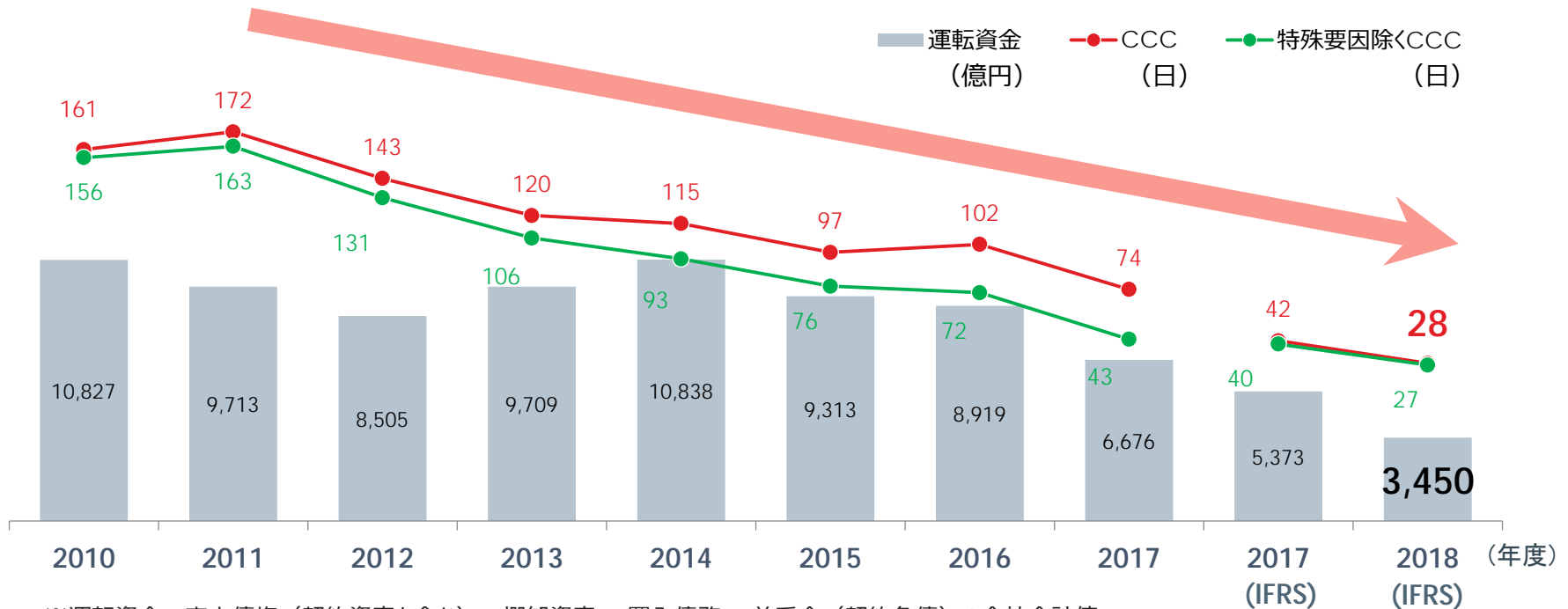
減少: 民間航空機、宇宙機器



## Ⅱ . 2018年度決算実績を踏まえた 当社財政状態・経営成績の分析

## (1) 運転資金の削減(経営効率化)とキャッシュ・フローの増大

- 流動資産（棚卸資産・売上債権）圧縮などによる、経営効率化活動は定着
- 運転資金は2016年度まで 1兆円～9千億円規模を推移していたが、2018年度は 3千億円規模まで減少し、営業CFの改善に寄与
- CCCは28日と大幅に改善



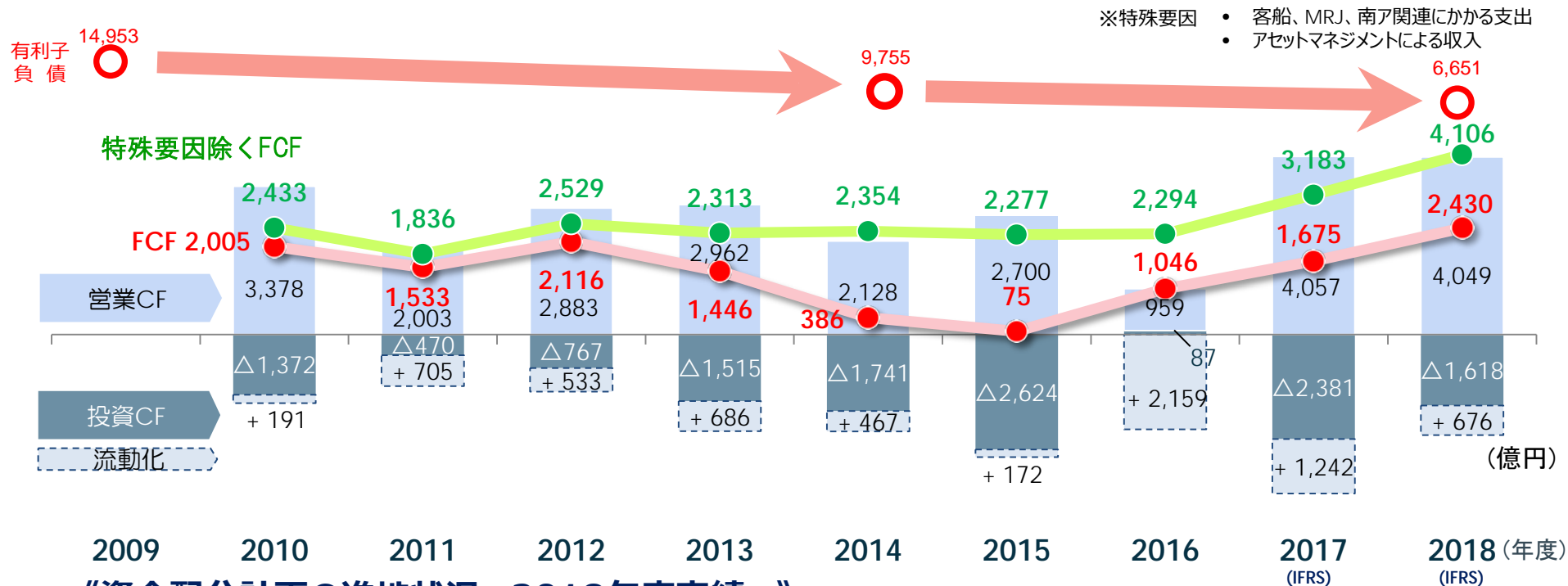
※運転資金 = 売上債権（契約資産を含む）+ 棚卸資産 - 買入債務 - 前受金（契約負債）の全社合計値

※CCCはドメインの運転資金（前渡金を含む）と売上高で算定

※特殊要因：客船、MRJ、南ア関連

# 財政状態と経営成績の推移 <キャッシュ・フローの推移>

- 2年連続で4,000億円強の営業CFを確保、FCFも前年度を上回る
- 有利子負債残高の縮減も進捗し、財務基盤の強化が進む



## 《資金配分計画の進捗状況-2018年度実績-》

【定常キャッシュ・インフロー（特殊要因除く）】 約5,700億円/13,200億円  
(18事計期間 配分計画)

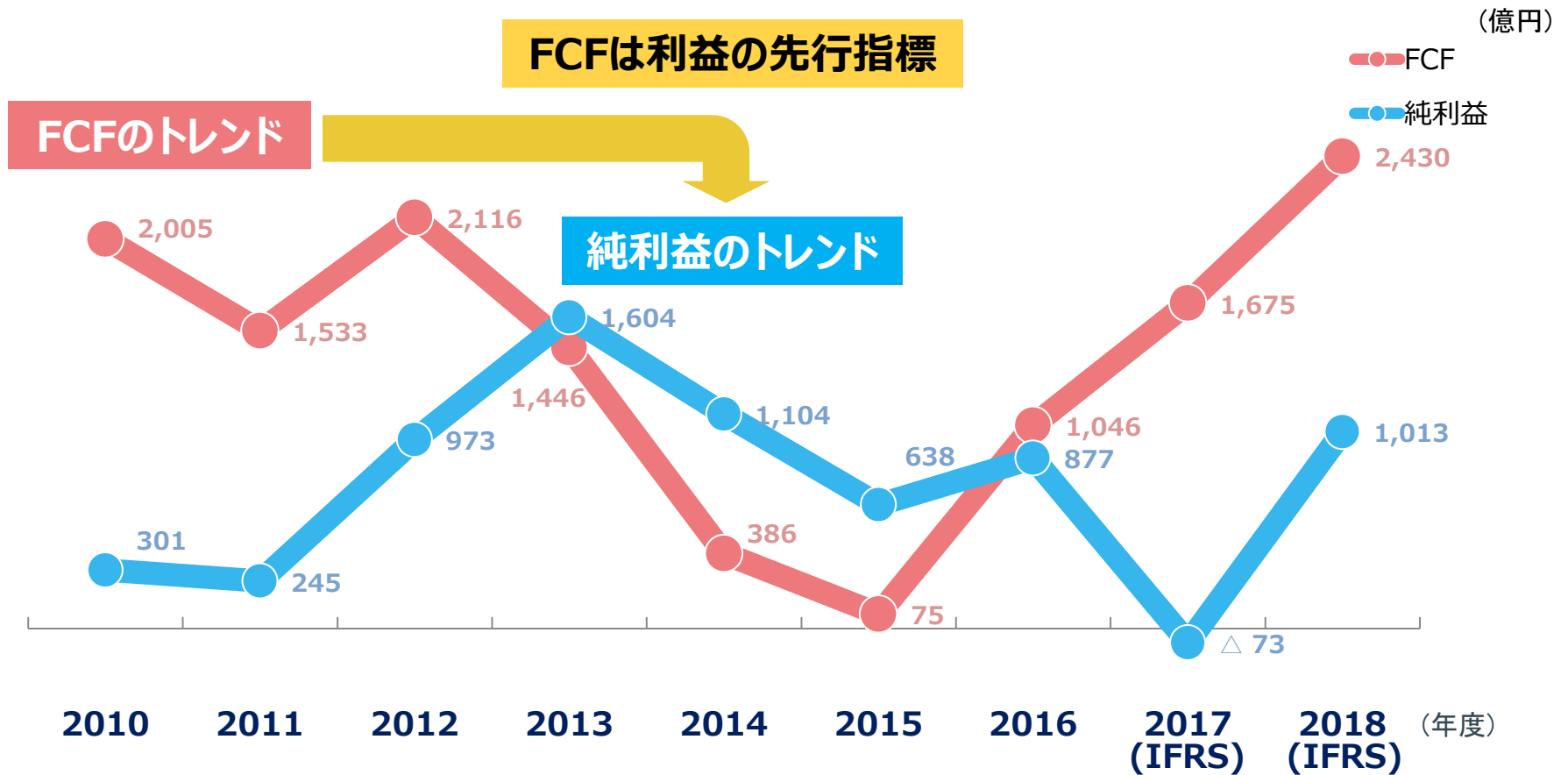
【新規事業及びリスク対応】  
約3,700億円/9,600億円

【有利子負債削減】  
約1,500億円/500億円

【株主還元】※  
約500億円/1,900億円

## (2) 純利益の増加(キャッシュ・フローとの相関)

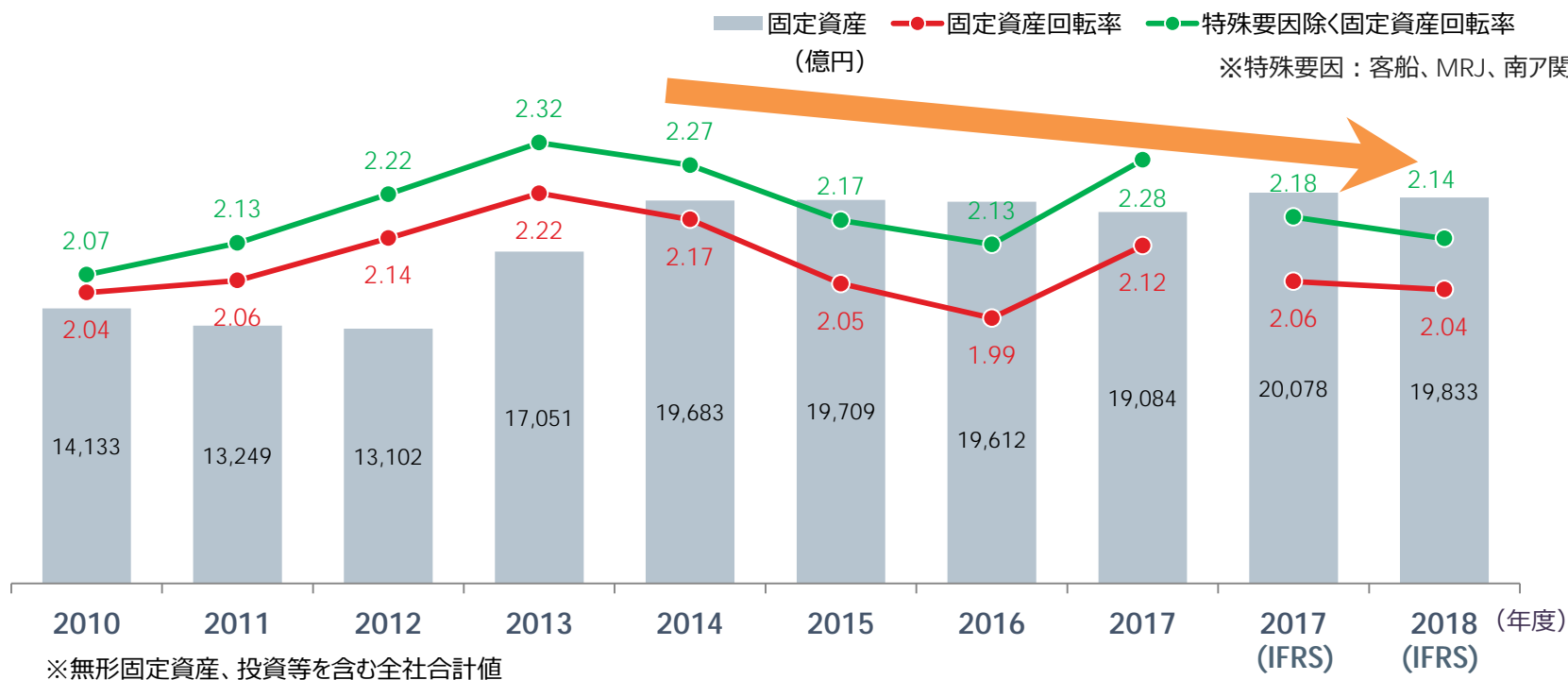
- FCFは利益の先行指標、FCFから2年程度遅れて純利益が実現
- 純利益は2017年度までダウントレンドなるも、昨今のFCFの増加を受けて2018年度より改善基調





## (3) 固定資産回転率の悪化

- 固定資産残高は、2014年度以降 2兆円規模で横ばい
- 大幅な事業規模伸長がない状況下、固定資産回転率は緩やかな悪化傾向



- 「流動資産」の効率化は着実に進捗し、大幅に改善
- 「固定資産」は新規投資をしつつも、低稼働資産の再活用・流動化を進め、全体として効率化を推進

# 評価と課題 <TOP達成に向けて>

## ■ 成果

安定的なCF創出力、健全な財務基盤は堅持

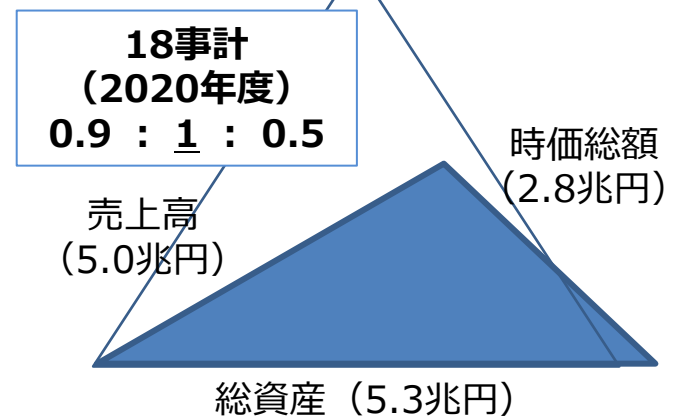
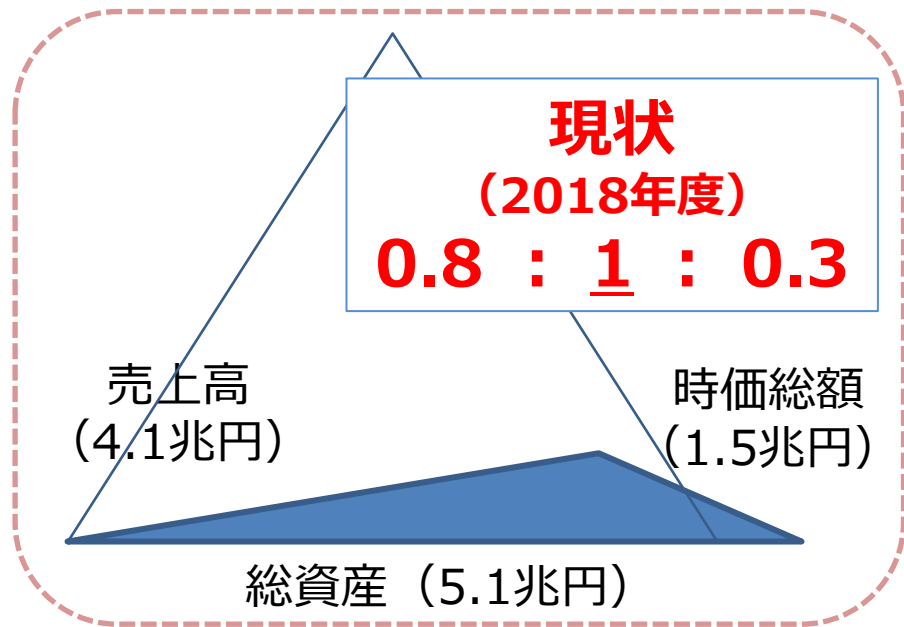
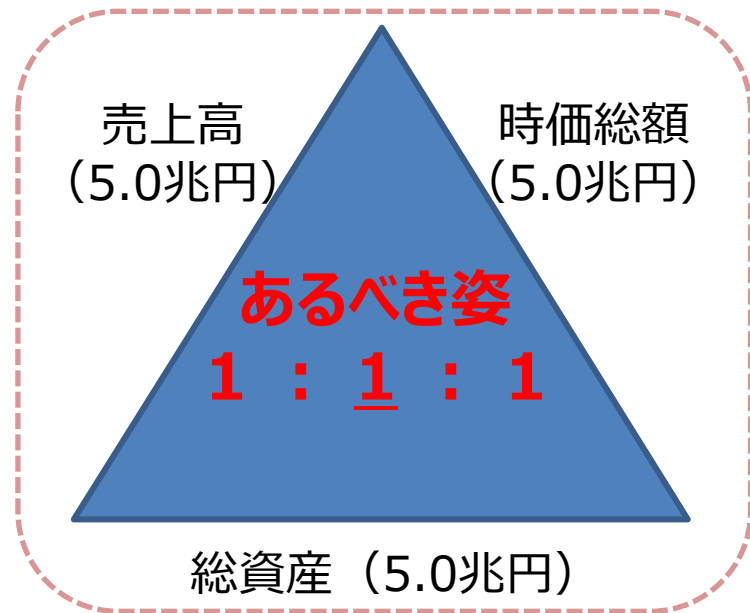
## ■ 課題

### ① 総資産と売上のアンバランス

- ・事業成長に向けた戦略的な成長投資

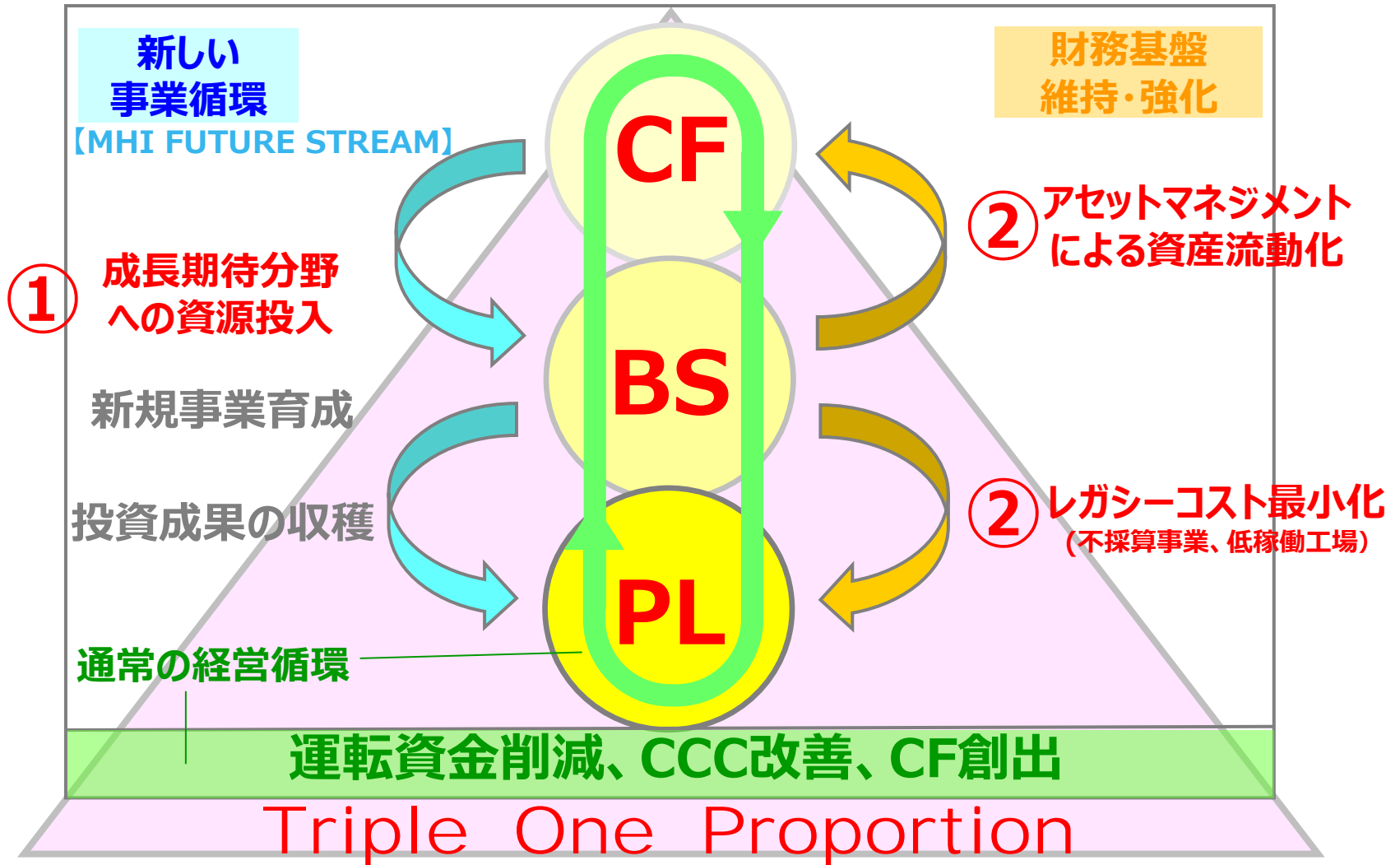
### ② 総資産と時価総額(利益)のアンバランス

- ・アセットマネジメントによる資産流動化
- ・低稼働固定資産のレガシーコスト最小化  
(資産の再活用・不採算事業対策)



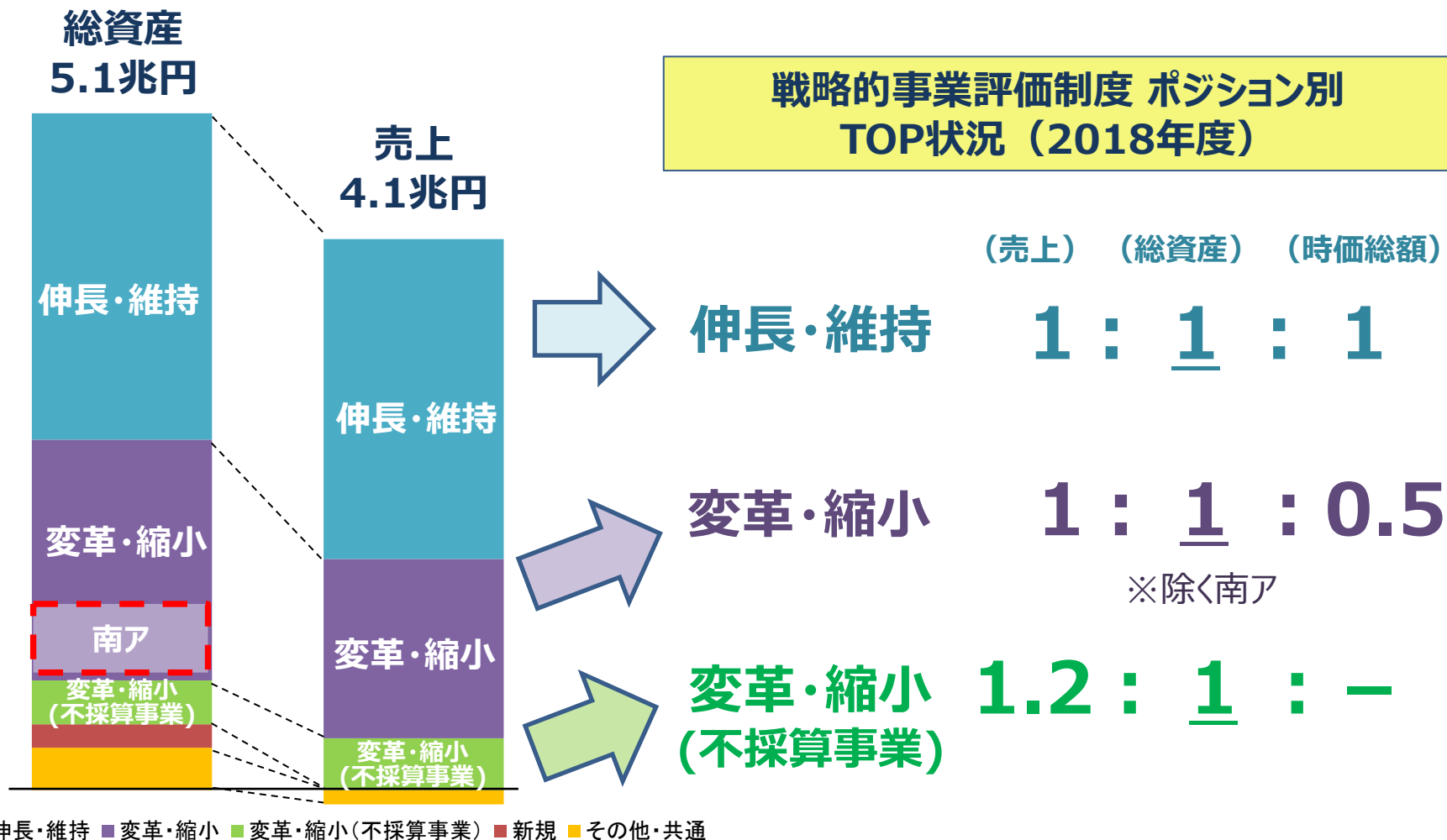
# 評価と課題 <改革実行のフレームワーク>

- アセットマネジメントによる資産流動化・負のレガシー資産解消による利益創出にて、リソース配分の原資を確保し、成長期待分野へ戦略的投資を実施



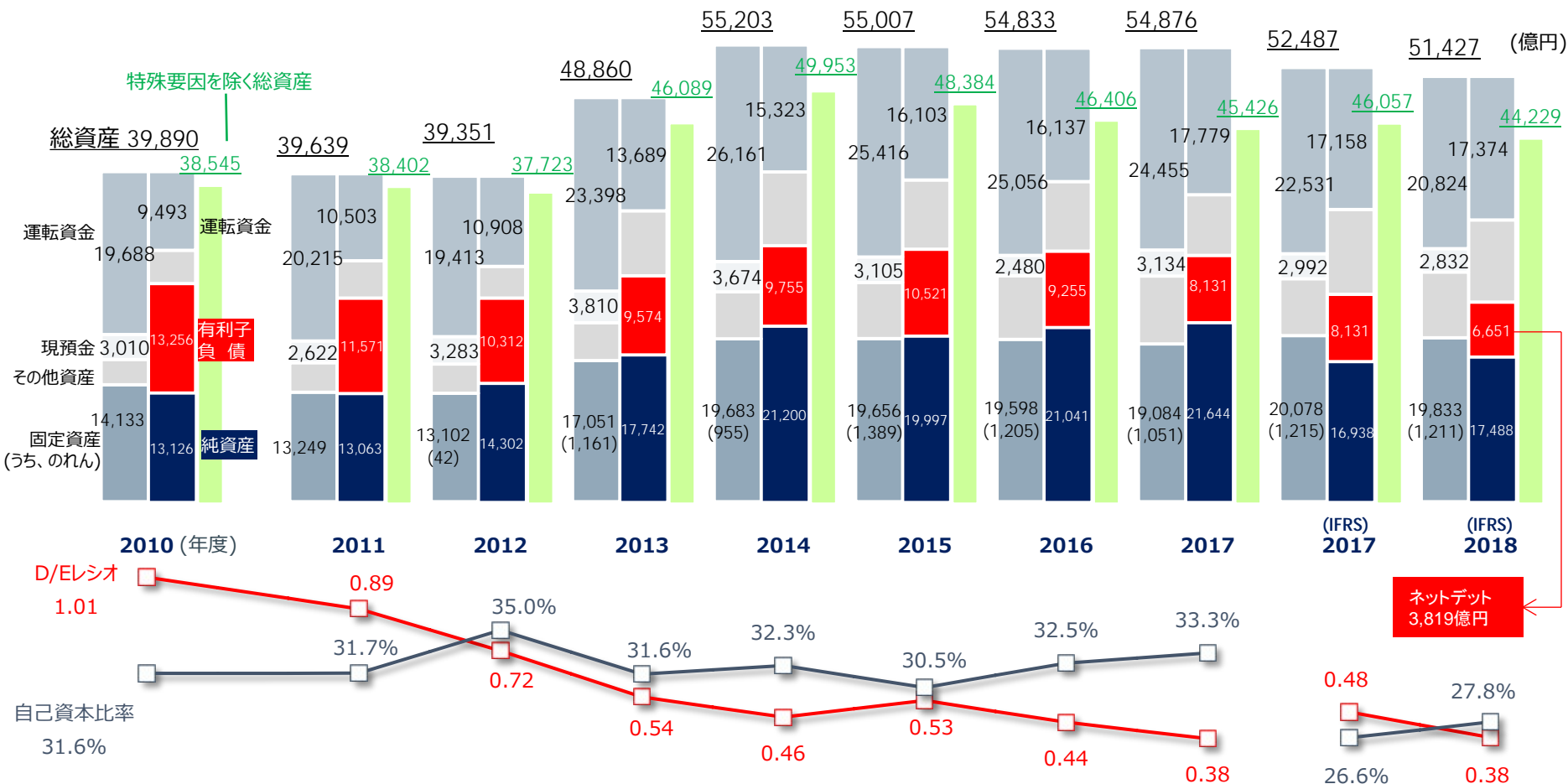
# 評価と課題 <ポジション別TOP状況>

- 総資産の50%（売上の60%）を占める「伸長・維持事業」はTOPを達成
- 今後は課題SBUの変革・改善と成長投資の早期回収に注力



## 貸借対照表

- 有利子負債の削減がさらに進捗、財務健全性向上
- TOP実現に向け、引き続き総資産を圧縮。D/Eレシオは過去最低水準



※運転資金 = 売上債権 (契約資産を含む) + 棚卸資産 - 買入債務 - 前受金 (契約負債)

※特殊要因: 客船、MRJ、南ア関連

## Ⅲ . 2019年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

# 2019年度業績見通し サマリー

(単位:億円)

	2018年度実績		2019年度見通し		対前年度増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高	38,534		43,000		+4,465	(+11.6%)
売上収益	40,783		43,000		+2,216	(+5.4%)
事業利益	(4.6%)	1,867	(5.1%)	2,200	+332	(+17.8%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	(2.5%)	1,013	(2.6%)	1,100	+86	(+8.5%)
ROE	7.2%		8%		-	
EBITDA	(7.6%)	3,116	(8.1%)	3,500	+383	(+12.3%)
フリーCF	2,430		500		△1,930	-
配当	130円 (中間65円/期末65円)		150円 (中間75円/期末75円)			

【未確定外貨】

24億ドル  
4億ユーロ

【前提為替レート】

1ドル = 110円  
1ユーロ = 125円

# 2019年度業績見通し 定常収益

(単位:億円)

2019年度見通し	定常収益 (利益率)		MRJ投資	合計 (利益率)	
受注高	43,000		-	43,000	
売上収益	43,000		-	43,000	
事業利益	(7.0%)	3,000	△800	(5.1%)	2,200
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.4%)	1,900	△800	(2.6%)	1,100
ROE	8%		-	8%	
EBITDA	(10.0%)	4,300	△800	(8.1%)	3,500
フリーCF	1,500		△1,000	500	

- 定常収益におけるTOP<sub>(※1)</sub>比… 0.8 : 1 : 0.6  
(売上…4.3兆円、総資産…5.2兆円、時価総額…3.2兆円<sub>(※2)</sub>)

(※1) TOP: Triple One Proportion (売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

(※2) 時価総額は親会社の所有者に帰属する当期利益の16.7倍(資本コスト:6%)として算定



# 2019年度業績見通し セグメント別内訳

(単位: 億円)

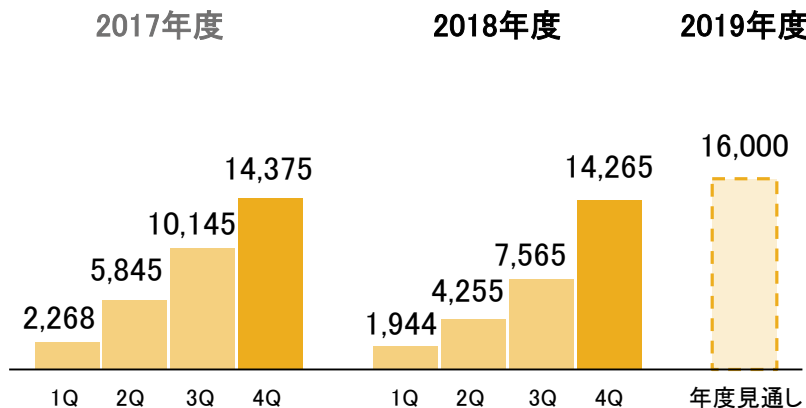
	受注高			売上収益			事業利益		
	'18年度実績	'19年度見通し	対前年度増減	'18年度実績	'19年度見通し	対前年度増減	'18年度実績	'19年度見通し	対前年度増減
パワー	14,265	16,000	+1,734	15,251	16,500	+1,248	1,328	1,400	+71
インダストリー&社会基盤	18,520	20,000	+1,479	19,078	19,500	+421	701	1,100	+398
航空・防衛・宇宙	6,106	7,000	+893	6,775	7,000	+224	△ 374	△ 200	+174
その他	733	1,000	+266	716	700	△ 16	359	50	△ 309
消去または共通	△ 1,091	△ 1,000	+91	△ 1,038	△ 700	+338	△ 148	△ 150	△ 1
合計	38,534	43,000	+4,465	40,783	43,000	+2,216	1,867	2,200	+332

## IV. 補足資料

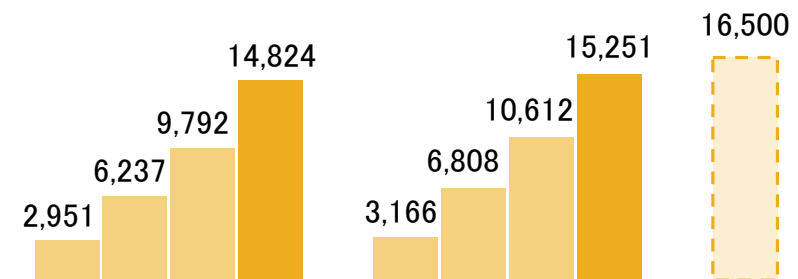
# 補足資料① 2018年度決算実績 <パワー>

(億円・各期の数値は累計)

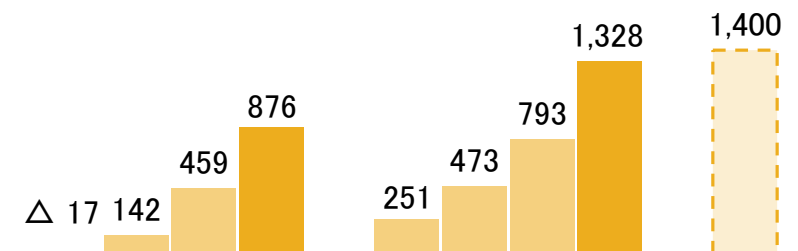
受注



売上



事業利益



**受注 : 対前年度△110億円の減少**

増加…GTCC<sup>(※)</sup>、コンプレッサ

減少…スチームパワー(コンベンショナル火力)、原子力

(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

## 【ガスタービン受注台数】

2017年度累計 : 8台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	2	2	-	2	6
中小型	-	-	1	1	2
合計	2	2	1	3	8

2018年度累計 : 31台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	3	8	-	2	13
中小型	7	10	1	-	18
合計	10	18	1	2	31

## 【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
2017年度末	38	6	44
2018年度末	43	16	59

**売上 : 対前年度+426億円の増収**

増加…原子力、GTCC

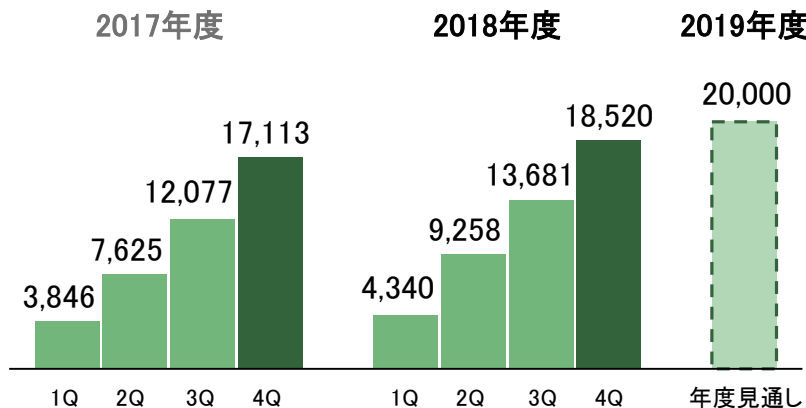
**損益 : 対前年度+452億円の増益**

増益…原子力、コンプレッサ:売上増加 他

# 補足資料① 2018年度決算実績 <インダストリー & 社会基盤>

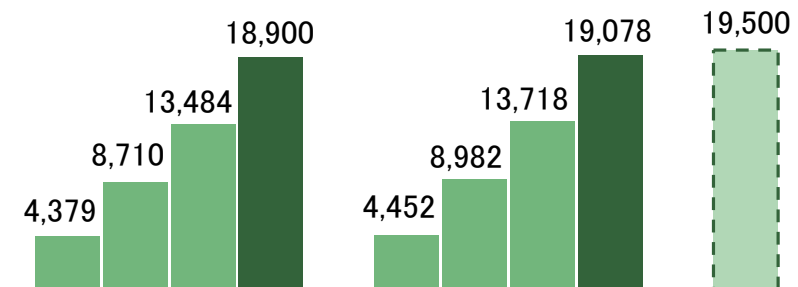
(億円・各期の数値は累計)

受注



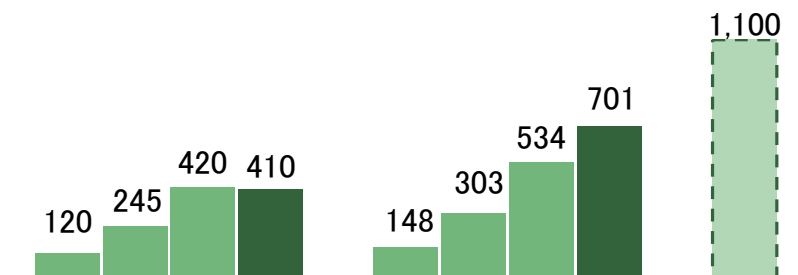
**受注 : 対前年度+1,406億円の増加**  
増加…商船、化学プラント、物流機器

売上



**売上 : 対前年度+177億円の増収**  
増加…製鉄機械、物流機器  
減少…化学プラント、商船

事業利益



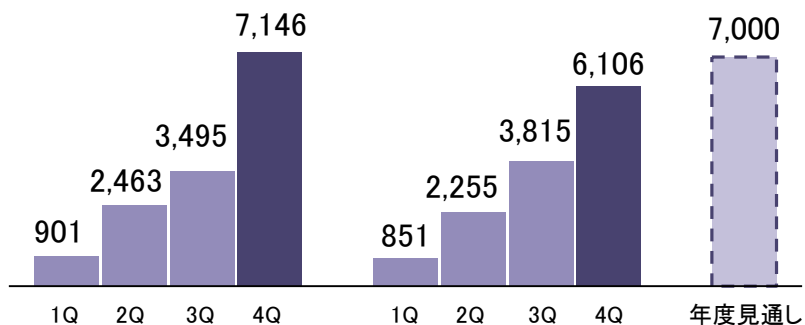
**損益 : 対前年度+290億円の増益**  
増益…交通システム: 損益改善  
物流機器: 売上増加 他

# 補足資料① 2018年度決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(億円・各期の数値は累計)

2017年度                      2018年度                      2019年度

受注



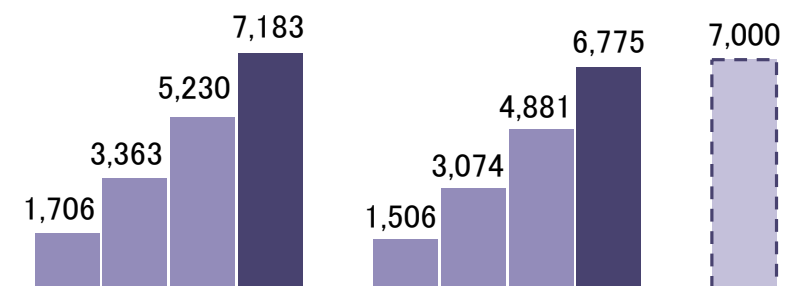
**受注 : 対前年度△1,040億円の減少**

減少…宇宙機器、民間航空機

【MRJ 累計受注機数】(2019年3月31日現在)

387機 (確定 213機、オプションおよび購入権 174機)

売上



**売上 : 対前年度△407億円の減収**

減少…民間航空機、宇宙機器

【B777 引渡機数】

'17年度(実績) : 58機 (1Q:17機、2Q:15機、3Q:16機、4Q:10機)

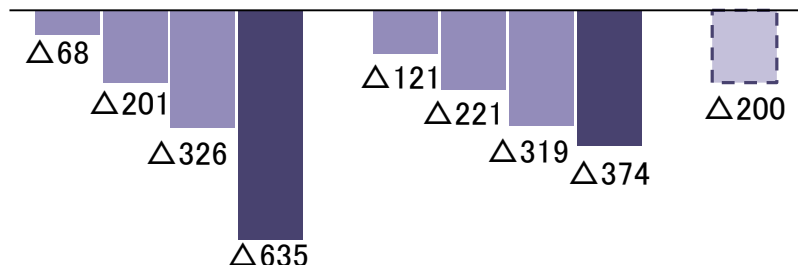
'18年度(実績) : 48機 (1Q:11機、2Q:11機、3Q:11機、4Q:15機)

【B787 引渡機数】

'17年度(実績) : 141機 (1Q:36機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:36機)

'18年度(実績) : 148機 (1Q:37機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:42機)

事業利益



**損益 : 対前年度+260億円の増益**

増益…MRJ: 研究開発費減少

減益…民間航空機: 売上減少 他

## 補足資料② 参考データ

### 1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度 (IFRS)	2018年度 (IFRS)	2019年度 見通し(IFRS)
研究開発費	1,506	1,607	1,768	1,768	1,521	1,600
減価償却費	1,587	1,727	1,761	1,761	1,249	1,300
設備投資	1,755	2,044	1,584	1,584	1,473	1,700

### 2. キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度 (IFRS)	2018年度 (IFRS)	2019年度 見通し(IFRS)
営業CF	2,700	959	3,451	4,057	4,049	—
投資CF	△ 2,624	87	△ 1,371	△ 2,381	△ 1,618	—
フリーCF	75	1,046	2,079	1,675	2,430	500
財務CF	△ 231	△ 1,620	△ 1,521	△ 1,123	△ 2,555	—

### 3. 有利子負債、D/Eレシオ

	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度 (IFRS)	2018年度 (IFRS)	2019年度 見通し(IFRS)
有利子負債残高 (単位:億円)	10,521	9,255	8,131	8,131	6,651	6,000
D/Eレシオ	0.53	0.44	0.38	0.48	0.38	0.3

### 4. 為替レート

(円/US\$)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 想定
売上計上平均レート	109.4	119.7	108.2	111.1	110.7	110.0
(参考)期末日レート	120.2	112.7	112.2	106.2	111.0	—

## 5. 人員

(単位:人)

		2014年度	2015年度	2016年度
(連結)	エネルギー・環境	26,855	25,887	25,326
	交通・輸送	7,129	7,428	7,417
	防衛・宇宙	6,022	6,281	6,389
	機械・設備システム	33,277	36,244	36,383
	その他	8,562	8,092	7,213
	合計	81,845	83,932	82,728

(単独) (21,117) (19,357) (16,824)

(単位:人)

		2017年度	2018年度
(連結)	パワー	24,922	24,576
	インダストリー&社会基盤	38,886	39,692
	航空・防衛・宇宙	10,762	10,795
	その他	6,082	5,681
	合計	80,652	80,744

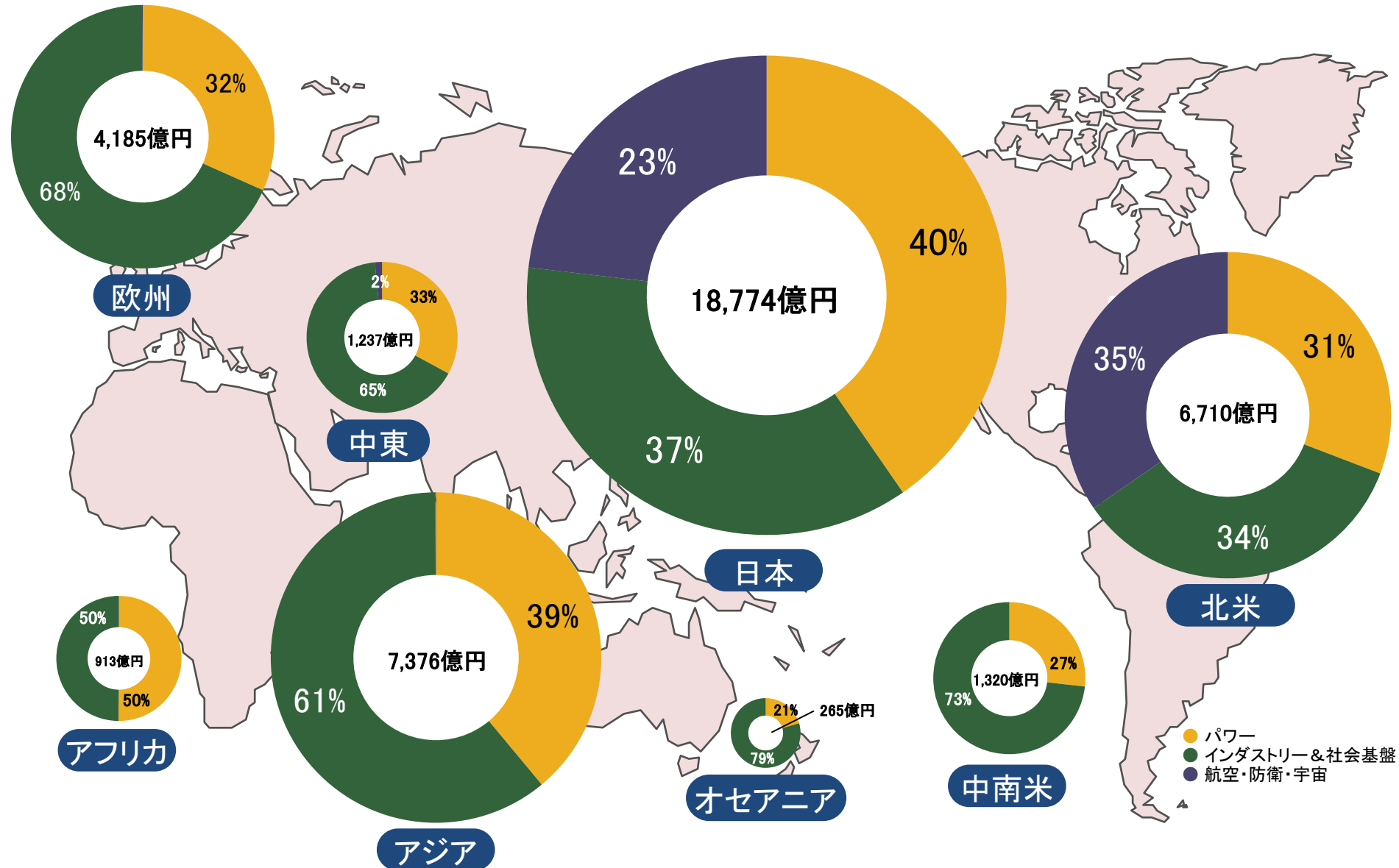
(単独) (14,717) (14,534)

## 6. 海外地域別売上高

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度 (IFRS)	2018年度 (IFRS)
北米	7,861 (19.4%)	6,845 (17.5%)	6,746 (16.4%)	6,632 (16.2%)	6,710 (16.5%)
アジア	7,219 (17.8%)	6,180 (15.8%)	6,930 (16.9%)	6,873 (16.8%)	7,376 (18.1%)
欧州	3,527 (8.7%)	3,956 (10.1%)	4,403 (10.7%)	4,322 (10.6%)	4,185 (10.3%)
中南米	1,269 (3.1%)	1,101 (2.8%)	1,468 (3.6%)	1,845 (4.5%)	1,320 (3.2%)
中東	1,157 (2.9%)	1,172 (3.0%)	1,443 (3.5%)	1,491 (3.7%)	1,237 (3.0%)
アフリカ	1,106 (2.7%)	1,356 (3.5%)	995 (2.4%)	1,047 (2.6%)	913 (2.2%)
オセアニア	277 (0.7%)	316 (0.8%)	307 (0.7%)	313 (0.8%)	265 (0.7%)
合計	22,418 (55.4%)	20,929 (53.5%)	22,296 (54.2%)	22,527 (55.1%)	22,008 (54.0%)

※ ( )内は構成比





**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**